

令和元年度 松戸市社会教育計画年度報告書

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。

本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、PDCAサイクルに基づき、各施策に対する各課の事業内容（Plan）に対し、事業の「実施状況（Do）」の点検、評価を行い、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A：施策の目標どおり推進できた」

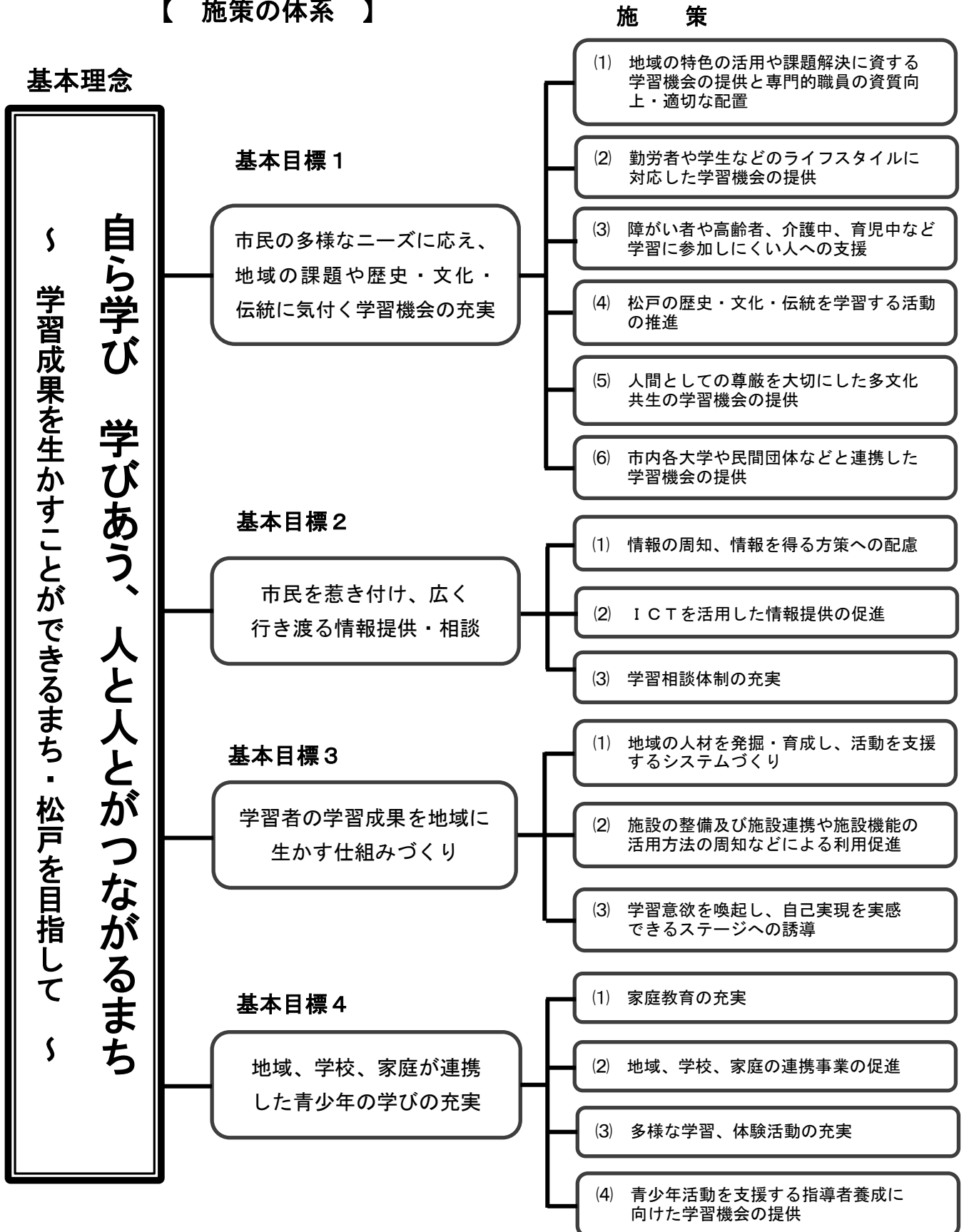
「B：施策について概ね順調に推進している」

「C：施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で定性評価（Check）を行うとともに、自己評価を受けて、事業がより推進していけるよう「課題と方向性（Action）」を示したものである。

第4章 社会教育活動を促進するための施策

【 施策の体系 】



【基本目標1】 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

《 施 策 》

(1)地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置

施策(1) 総合評価(事業課数9)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	4/9	44.4%	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/9	44.4%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/9	44.4%	5/9	55.6%	4/9	44.4%	5/9	55.6%			
C	—	1/9	11.2%	0/9	0.0%	0/9	0.0%	0/9	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学習機会提供事業 (P32) (各種講座開催)	生涯学習推進課	<p>市民が趣味や教養を高めるなど自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができるよう、各種学習の機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつど生涯学習大学講座 ・ふるさと発見創造講座 ・成人講座 ・市民大学講座 						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<p>新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりを目指して様々な課題や学習テーマを取り扱い、市民には好評であった。また、開催場所についても市内各地域の公共施設を使用することで、より多くの市民が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつど生涯学習大学講座(入門コース)参加者数 R1: 延べ5,207人(18回開催、内2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・ふるさと発見創造講座参加者数 R1: 延べ128人(10回開催、内1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・成人講座参加者数 R1: 延べ3,126人(12講座63回開催) ・市民大学講座参加者数 R1: 延べ1,759人(7講座25回開催) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
<p>講座内容のマンネリ化や新たな受講者の獲得に向け、多様化する市民ニーズに即した幅広い学習テーマを設けることが課題であり、講座の企画段階において、テーマ、講師選定、開催回数や時期、場所の設定等を工夫し、様々なテーマで学習機会のさらなる拡充を図る。</p> <p>特に、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン講座の配信、双方向型講座など、新しい生活様式に合わせた講座の開催が急務である。また、市民自主企画講座において、より効果的、効率的な事業展開を図るため、市民自主企画団体への支援範囲や制度設計の改善、見直しを行っていく。</p>								
松戸の教育 参考ページ	P62~64 (1)講座状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動支援事業 (P32)	生涯学習推進課	市民の自主的な社会教育活動の振興を図るため、社会教育関係団体への支援を行う。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料等の減免、共催、後援 ・広報掲載(行事案内、会員募集) ・ポスター掲出 ・視聴覚ライブラリーを無料で貸し出し 						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館使用料等の減免： <ul style="list-style-type: none"> 10割減免(社会教育関係団体) R1: 1,759件 H30: 1,885件 3割減免(社会福祉団体等) R1: 20件 H30: 21件 ・共催・後援 R1: 146件 H30: 140件 ・広報掲載 R1: 275件(4/1~3/15号: 行事案内、会員募集など) H30: 289件 ・ポスター掲出 R1: 111件 H30: 85件 ・視聴覚ライブラリー貸し出し R1: 280件 H30: 285件 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
引き続き、社会教育関係団体の支援を通して、市民の自主的な社会教育活動の振興を図る。								
松戸の教育参考ページ	P69 (4)視聴覚ライブラリー							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (P32)	図書館	課題解決のために多様な情報の提供を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援するため、調べ方案内の提供や情報活用能力の育成を図ります。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・本館3階の書庫スペースや、商工会議所別館5階に新たな書架を配置するなど、蔵書収蔵能力の拡充を行った。また、開架資料の選定や複本冊数の適正化などを積極的に行い、多様な情報の提供のための蔵書構築を進めた。 ・「ウィキペディアタウンin松戸」を開催し、市民の情報リテラシー(情報活用能力)の向上を図った。 ・郷土に関する講座「まつどの叡智を探る~千葉大園芸学部の歩みとふるさとまつど~」の開催に合わせて、関係資料のリストを作成し、配布した。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	C	B	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、蔵書収蔵能力の拡充を図るとともに、幅広い分野の資料の体系的な収集を進める。また、調べ方案内(パスファインダー)の作成を行うとともに、ウィキペディアタウン等を開催するなど、市民の情報リテラシー向上のための取り組みを進めていく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	教育企画課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		専門的職員の資質向上については、教育企画課で取りまとめている派遣研修計画に基づく研修及び、各課の予算による派遣研修を行うことで専門的職員への一定の研修機会は確保できている。 派遣研修計画に基づく研修件数…2件						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を活かした活動を支援できるよう、また専門的職員の資質向上については、引き続き一定の研修機会の確保に努める。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	社会教育課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		・令和元年度は、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」に職員を派遣することができなかった。 ・社会教育主事の発令を受けている職員 R1:2人/17人 (H30:2人/17人) ・文化財については、他分野に渡る専門的知識の修得のため、文化財担当学芸員に加え、事務職員も千葉県や千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会などの研修会や研究会に参加し、資質向上を図った。 ・R1文化財に係る研修会及び研究会参加人数:延べ 42人(28件)[H30同参加人数:延べ26人(19件)]						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方向性(Action)						
・市町村における社会教育主事の配置率が全国的に低下傾向であることから、職員に「社会教育主事講習」の周知を図っていく。 ・文化財についても対象となる時代や地域、内容が広範囲にわたることから、職員には幅広い知識とそれを補うための学習が必要となっている。令和2年度も担当職員の知識の修得のための研修会の参加を進めていく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	生涯学習推進課	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和元年度の実施状況(Do)					
		社会教育主事資格取得のために講習会へ職員を派遣するとともに、職員の資質向上を図るため必要な研修機会を充実させた。					
		・社会教育主事の発令を受けている職員:6人/17人					
		・新たに「社会教育主事講習会(社会教育実践研究センター)」を受講した職員:1名					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1
	—	A	A	A	B		
令和2年度の方方向性(Action)							
引き続き、社会教育主事資格取得のための講習会をはじめ職員の資質向上を図る研修機会の充実に取り組む。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	図書館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める					
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実					
		令和元年度の実施状況(Do)					
		・資格取得のための講習会に職員1名を派遣した。(司書資格取得)					
		・ビジネス・ライブラリアン講習会、障害者サービス担当職員養成講座をはじめ、さまざまな外部研修への派遣を行うとともに、館内研修(3回/年※)を行い、専門的職員の資質向上を図った。					
		・職員派遣研修数(庁内研修除く) R1:39回 H30:39回					
		※新型コロナウイルスの影響で館内研修は3回のうち1回中止。					
担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	—	B	B	B	B		
令和2年度の方方向性(Action)							
・司書資格を有する職員の確保を進める(正規職員のうち司書有資格者14名)ため、引き続き、司書資格取得のための講習会へ職員を派遣する。							
・外部研修への職員派遣、および館内研修の充実に努め、専門的職員の資質向上を図る。							
松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	戸定歴史館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域課題に適切に対処した学習機会や学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		退職不補充等もあり令和元年度から学芸員2→1名に減員となったため、展示・研究等、学芸業務を1名で一手に引き受けるとともに事務業務も担っており、外部研修等への参加が難しい現状がある。 また、学習支援専門員について、市内小中学校等への広報及び資料作成を行い、地域への教育普及活動の充実を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	B	B	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
学芸員の適正配置を求めるとともに、他の文化施設やメディア等との連携・交流を通じて専門的知識のブラッシュアップ及びインプットを図り、資質向上を目指す。また、業務のさらなる効率化を推進し、研修機会の充実を図る。 学習支援専門員については、学校との連携を中心に、さらなる地域への教育普及活動の充実を目指す。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置(P32)	博物館	社会教育行政が、市民の高度で多様化する学習要求をはじめ、地域の課題に学習機会や、学習の成果を生かした活動を支援できるよう、専門的職員の資質向上を図る研修の機会などを充実し、適切な配置に努める。						
		・社会教育主事、公民館主事、図書館司書、学芸員などの研修の機会の充実						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		博物館には、高い専門的技能を持つ学芸員の存在が不可欠であり、資料の収集・保管など、専門的知識・技術の習得、知識の向上を図ることを目的として、各種研修会に参加した。 ・研修会参加実績 R 1年度(12回) H30年度(12回)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
新たな市民ニーズに対応した博物館運営には、学芸員の計画的配置と個々の人材育成が必要である。学芸員に求められる専門的知識・技術の一層の向上を図るため、研修や学術団体への参加などにより学芸員の人材育成に取り組んでいく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供

施策(2) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%	1/2	50%	1/2	50%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	1/2	50%	1/2	50%			
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)					
学習機会提供事業 (P33) (基礎学力再履修講座開催)	生涯学習推進課	義務教育を終えた後も、基礎学力が足りない、基礎学力をもっと身につけたい、また、その他様々な理由により再び学びたいと考えている市民に対し、講座を開設する。					
		令和元年度の実施状況(Do)					
		基礎学習講座 ※カリキュラム 国語・数学(算数)・英語・社会(1教科24名)					
		R1: 授業開催数: 延べ643 受講生: 101人 延べ8,146人 修了書授与者 88人					
		H30: 授業開催数: 延べ719 受講生: 139人 延べ9,435人 修了書授与者 105人					
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1
	—	A	A	A	A		
		令和2年度の方針(Action)					
		位置づけを「人生100年時代の生涯学習講座」として市民に分かりやすく、より多くの方に参加いただけるよう実施する。 また、長期に渡り受講している方も多いため、学んだ成果をまとめて発表するとともに、抽選により希望の教科を受講できなかった方や、リピーターの方で更に学習を深めたいと思っている方等には、自主的なグループ活動や自主企画団体化を促し、必要な支援を行う。また、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安心して参加できるよう開催していく。					
松戸の教育 参考ページ		—					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(学 各 種 講 座 開 催 提 供 一 事 業 再 掲 P P 3 3 2 3)	生涯学習推進課	【成人講座】 働く人々等を対象とした、新しい自己の発見と充実した生活、人間関係の広がりをめざした学習の場として開催する。 (昼間・夜間・週末に実施)						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		現代社会の様々な話題や課題を学習テーマとして、経験・知識豊かな講師を選定した講座を開催した。 ・成人講座参加者数 R1:延べ3,126人(12講座63回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	B	B		
		令和2年度の方向性(Action)						
講座数の減少、講座内容のマンネリ化が課題である。多様化する市民ニーズに応えるため、時代に即したテーマや講師による講座を企画するとともに、受講者が参加しやすい開催場所や開催日時を工夫して実施する。特に、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン講座の配信、双方向型講座など、新しい生活様式に合わせた講座の開催を行っていく。								
松戸の教育 参考ページ	P62 (1)講座状況 [成人講座]							

《 施 策 》

(3)障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援

施策(3) 総合評価(事業課数4)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/4	75%	3/4	75%	4/4	100%	3/4	75%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/4	25%	1/4	25%	0/4	0.0%	1/4	25%			
C	—	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/4	0.0%	0/4	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(身体障害者図書貸出等) (一部再掲) (P34) (P32)	図書館	病院等施設(病院及び老人ホーム)に入院・入所して図書館利用に困難な状況にある方々への巡回サービスを実施し、市民が「等しく」利用できる図書館を目指している。また、身体障害者及びねたきりの方々に対しても、図書の宅配サービスを行う。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		事業を円滑に進めるため、施設巡回における運用の見直しを行った。また、各施設へのアンケート調査を実施し、それを参考に巡回計画の見直しを行った。						
		・施設巡回サービス 巡回施設数 R 1 : 21施設 H30 : 21施設 巡回回数 R 1 : 361回 H30 : 431回 延利用者数 R 1 : 3,457人 H30 : 4,342人 貸出冊数 R 1 : 10,471冊 H30 : 13,481冊						
		・宅配サービス 登録者数 R 1 : 47人 H30 : 58人 延利用者 R 1 : 349人 H30 : 349人 貸出冊数 R 1 : 1,392冊 H30 : 1,152冊						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A	A	
令和2年度の方角性(Action)								
・新型コロナウイルス感染防止のため、老人ホーム等の高齢者福祉施設及び身体障害者の方々へ図書館資料を持参する際に、図書館職員の感染予防策及び健康管理と、訪問先の感染予防策及び健康管理の確認を徹底する。 ・各施設にアンケートを行うなどし、利用者のニーズの把握に努め、利用の促進を図る。								
松戸の教育 参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年活動支援事業 (P34)	生涯学習推進課	【青年学級講座】 特別支援学級を卒業した人を対象に、自立、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高めていく機会として開催する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		令和元年度は主として毎月第4日曜日に、カラオケ大会、ボウリング大会、合唱、ユニカール交流会などを行った。ユニカールではなんでも体験団の小学生と合同で行い、交流を図った。延べ参加者は学級生、保護者、ボランティア等を合わせて146名であった。新型コロナウイルス感染防止のため、行事の一部が中止となり、参加人数も減に転じた。 R 1:13行事 延べ参加者 146人 H30:12行事 延べ参加者 265人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
		青年学級は市内の就労支援施設等へチラシ配布などを行ったが、新たな参加者が少なく参加者の固定化、高齢化が進行している。 今後は団体としての自立に向けた支援を行うなど検討が必要である。						
松戸の教育 参考ページ	P78 [その他の状況] 青年学級							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(学 各種講座 機会提供 事業 一部再掲 (P3324))	生涯学習推進課	【まつど生涯学習大学講座】 60歳以上の人を対象に、自らの生活課題や社会的課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して開催する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		前年度受講生からなる提案委員会において次年度に学習したいテーマを検討し、現代社会の様々な生活課題、地域の歴史や伝統文化、行政の仕組みなど、多様なテーマと魅力ある講師による講座を開催した。 ・生涯大参加者数 R1:延べ5,207人 (18回開催、内2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・提案委員会参加者数 R1:延べ75人(全8回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		毎年、定員を大幅に超える応募がある人気講座だが、講座を修了した受講者がその後、積極的に生涯学習や地域活動に参加できる仕組みづくりが課題となる。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、応募者を3グループに分けカリキュラムを縮小する。それに伴い、各回の定員を減らすことで「密」状態を避け実施する。						
松戸の教育 参考ページ	P64 [まつど生涯学習大学講座] [平成29年度まつど生涯大学講座プログラム]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
家庭教育力向上事業（P34）（子育て学習開催）	生涯学習推進課	家庭の教育力回復支援事業の一環として、孤立した環境の中で子育てをしている市民や育児に参加する時間の少ない保護者に、子育てに関する情報や学習の機会を提供し、参加をサポートする。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		孤立した環境の中で子育てをしている市民や、育児に参加することの少ない保護者でも親子で参加できる講演会や講座を開催し、参加した保護者に向けて、子育てに関する学習会や講演会の情報を提供する。 ・「ふれあいファミリーコンサートINまつど」8/23 322名 ・親子特別講座「すごい空の見つけ方」 12/7 231名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
孤立した環境の中で子育てをしている市民や、育児に参加することの少ない保護者でも親子で参加できる内容や日程などを工夫し、引き続き、講演会や講座を開催し、親子の関係性を深める場と子育てに関する情報や学習の機会を提供していく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(4)松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

施策(4) 総合評価(事業課数7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	1/8	12.5%	2/7	28.6%	5/7	71.4%	5/7	71.4%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている又は未実施
B	—	7/8	87.5%	5/7	71.4%	2/7	28.6%	2/7	28.6%			
C	—	0/8	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化財保護事業(P35)	社会教育課	文化財の保護啓発活動に努めるとともに、学習資料として文化財マップの作成、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐりや講座などを行う。学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」「われらの松戸」に市内の文化財等を紹介する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行を行い、史跡めぐりを実施した。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行った。 ・R1: 史跡めぐり参加者数 延べ89人 (3回(6日間)開催 [内1回は親子史跡めぐり]) H30: 同参加者数 延べ66人 (3回(6日間)開催 [内1回は親子史跡めぐり]) ・R1: 新規刊行物; 報告書2種類 H30: 新規刊行物; 報告書2種類						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
文化財に関しては、個人から団体の学習まで幅広く、また専門的な相談への対応が必要になっているので、担当職員のさらなる知識修得が課題である令和2年度は職員の知識のさらなる習得を図っていく。また、例年実施している史跡めぐりのような集団での見学が現在難しいことから、市民が自ら見学をしていくようなことを促進できるような事業を検討し、これまでと違った形による啓発と学習活動の推進を図っていく。								
松戸の教育参考ページ		P55 (2)文化財保護						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
戸定歴史館管理運営事業 (P35)	戸定歴史館	国指定重要文化財「旧徳川家松戸戸定邸」、国指定名勝「旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)」の公開と、水戸藩最後の藩主であり、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の弟である徳川昭武の事跡を中心に数ヶ月に一度の割合で内容を変更しながら歴史館において展示会を開催し、市民の学習及び文化、芸術活動の場を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		通常展を3回、企画展については、パリ万博時、徳川昭武に随行した日本政府特別使節団員の資料を中心に展示した。また、「科学と芸術の丘」など、他機関との連携のもと戸定が丘全体を用いたイベントが実施され、市民の文化・芸術活動の充実に寄与した。 ・戸定歴史館入館者数：16,438人(212日間)、戸定邸入館者数：27,571人(282日間) 合計 44,409人(前年度 69,785人) ・入館料：6,350,810円(前年度 9,414,460円) ※新型コロナウイルスの影響で年度内は3/3より臨時休館						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		収蔵品を中心とした通常展を年に3回、企画展については、徳川昭武の家族を中心に徳川家の女性たちの生活と教養を伝える品物を紹介する。また、R3年のNHK大河ドラマに徳川昭武が関連するため、それも踏まえた関連イベントを検討する。感染症拡大防止の観点から、イベントの実施には工夫を要すると考える。						
松戸の教育参考ページ	P94 6 戸定歴史館							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館展示事業 (P35)	博物館	総合展示・主題展示・野外展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深める機会を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		郷土の歴史と文化に関連する資料・情報の収集、保管、研究を基盤にして、展示を実施している。 ・常設展示観覧者数 (総合展示・主題展示) R1年度(延べ12,666人) H30年度(延べ20,777人) (野外展示※竪穴住居) R1年度(延べ13,559人) H30年度(延べ14,731人)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		導入後27年を経過した常設展示室および企画展示室の照明は、不具合が多発しているため、機器の更新をおこなう。						
松戸の教育参考ページ	P24 博物館展示事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館学習支援事業 (P35)	博物館	歴史講座等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史・文化等に関わる最新情報を様々な媒体を通して提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸市の歴史・文化の講座及び学校教育での博物館の利用を促進するため見学会を行うなど学校教育との連携を深めている。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講座 R 1年度:(古文書を読む「近世入門編」他3講座) 延べ221人(17回開催) H30年度:(古文書を読む「近世入門編」他4講座) 延べ624人(24回開催) ・見学(学習活動) R 1年度:(常設展示観覧者) 延べ1,201人 H30年度:(常設展示観覧者) 延べ5,842人 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
学芸員の専門性を生かした講座の充実を図り、講座を通して郷土の歴史や文化を伝えていくとともに、学校が博物館を利用する機会を増やし、博学連携が進展するように取り組んでいく。								
<ul style="list-style-type: none"> ・講座、講演会、体験教室、こども体験教室(博学連携プログラム含む) など 								
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館学習支援事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館歴史資産収集調査事業 (P35)	博物館	松戸を中心とする歴史・文化等に関する資料の収集・保存および調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		博物館資料として寄贈・寄託を受け、収集・保存を行った。また市内所在の古文書の調査を実施した(古文書調査委託)。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈 R 1年度(4件・843点) H30年度(2件・142点) ・寄託 R 1年度(3件・1,758点) H30年度(2件・573点) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
博物館資料の収集に伴って調査・研究を行い、その成果を展覧会・講演会・講座等を実施することで市民へ還元する。								
松戸の教育 参考ページ	P24 博物館歴史資産収集調査事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市史編さん事業(P35)	博物館	市民が郷土の歴史についての理解を深め、郷土に対する誇りをより一層高められるよう、松戸市史の編さんを行う。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		市長から諮問のあった『松戸市史上巻』改定事業が終了し、市史編さん委員は平成28年6月30日をもって任期満了となっている。						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	事業終了			
		令和2年度の方向性(Action)						
市史編纂委員会からの意見により、今後の『松戸市史』編さん事業については専門の組織を立ち上げて、長期計画のもとで慎重に進める。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館(郷土資料提供)再掲事業(P32)(P35)	図書館	郷土資料等の郷土の歴史と文化に関する資料を積極的に収集・保存し提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 本館参考調査室の書庫スペースに新たな書架を設置し、郷土資料の蔵書収集能力を拡充した。 郷土資料の受入冊数 R 1:328冊 H30:400冊 市内にお住いだった郷土史家についての企画展示を行うなど、地域の歴史・文化・伝統に関する情報の発信に努めた。 郷土に関する講座「まつどの叡智を探る～千葉大学園芸学部の歩みとふるさとまつど～」、郷土資料を使用するワークショップ型イベント「ウィキペディアタウンin松戸」を開催し、延べ83名の参加があった。 						
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
引き続き、積極的な資料の収集に努める。また、市民により活用されるような資料の配置方法や、必要なリスト等の抽出・作成、郷土に関する講座の開催について検討していく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術文化関係事業（P36）	社会教育課	美術館等の開設を準備するとともに、松戸ゆかりの美術についての調査及び優れた美術品等の収集、保存、公開を行う。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸ゆかりの美術作品や資料等についての調査、収集、保存管理を行った。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの美術家の作品調査 追加調査: 2人(H30年度4人) 松戸の美術作家に関するアンケート調査 追加調査: 9人(H30年度5人) ・収集 : 寄贈34点(H30年度: 寄贈101点) ・保存 : 美術作品、資料等の整理、燻蒸業務、修復業務、保管業務 ・公開 : 常盤平第二小学校においてポスター等のグラフィックデザインを展示した。 <ul style="list-style-type: none"> ◆期間 : 令和2年2月25日(火)から3月16日(月) ◆場所 : 常盤平第二小学校 図書室廊下 ◆出品作家: 大橋正 ◆出品数 : 11点 ・その他: 『板倉鼎・須美子書簡集』の刊行 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
令和2年度の方向性(Action)								
<p>令和元年度に引続き、以下のとおり実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査 : 松戸ゆかりの作家の作品調査及び松戸の美術作家に関するアンケート調査の実施 ・保存 : 美術作品、資料等の整理を実施 ・公開 : 市立博物館において「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」を開催 森のホール21において「松戸の作家の個展」を4回開催 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存 : 未受入の美術作品や美術関係図書等の整理 適切な環境で美術作品等を保存できる場所の不足 ・公開 : 市所蔵資料等を公開する場所の不足 								
松戸の教育参考ページ	P61 (3)美術準備室							

《施 策》

(5)人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供

施策(5) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/3	100%	3/3	100%	3/3	100%	3/3	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%			
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
人権学習の推進(P36)	生涯学習推進課	自分や自分以外すべての人たちの人権や生き方を考える講座や、直接的に人権をテーマとしていない講座であっても、可能な限りプログラムに人権課題を加えた講座を実施する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		市民大学講座講演会「人の痛みに共感できる感性を～人権は誰の足も踏まない、誰にも自分の足を踏ませないこと」では、より多くの市民を対象に人権に対する関心を喚起するという目的で実施した。4回にわたる現地学習会では、人権尊重のあゆみや現状、部落差別についての講演、食肉処理業者や国立ハンセン病資料館への現地学習、参加者同士の話し合いなどにより、人権問題の理解やその深化が図れるよう企画・実施した。また、他の事業においてもプログラムの中に人権問題に関わるテーマを取り上げた。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座人権講演会「人の痛みに共感できる感性を～人権は誰の足も踏まない、誰にも自分の足を踏ませないこと」 全1回 R1:123人 市民大学講座現地学習会 全5回 R1:延べ56名 ・まつど生涯学習大学第122回講座「障がいのある人と共に生きる」 R1:251人 ・家庭教育学級第2回研修会(人権研修会) R1:81人 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
市長部局、教育委員会、人権擁護委員協議会と協力、連携して、市民大学講座、まつど生涯学習大学講座、家庭教育学級をはじめ、市長部局が開催する講演会等において、様々な人権をテーマにした学習の機会を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座(全5回) 10月頃予定 ・まつど生涯学習大学講座(第12回) 12/6 ・家庭教育学級(第2回研修会) 9/8 								
松戸の教育参考ページ		P63[市民大学講座] P64[令和元年度まつど生涯学習大学講座プログラム] P66(2)家庭教育学級等の状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年会館学習機会提供事業（P36）	生涯学習推進課	【国際交流事業】 諸外国の生活・文化・風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える交流学習の機会を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		まつど国際文化大使の宋 如芳(そん るふあん)氏による「台湾のほかほか肉まんづくり親子教室」講座を実施。 台湾の伝統的な肉まんの作り方を親子で体験することを通して、異国の文化や歴史の一端を理解すると共に、世界の国々に関心をもつ契機となった。 受講者：述べ24名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、諸外国の生活・文化・風習に触れられるような学習機会を提供する。						
松戸の教育参考ページ	P78〔その他の状況〕国際交流事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
おもてなしボランティア養成事業（P36）	生涯学習推進課	日本人固有のおもてなし文化を広め、国際性豊かで内外の人々に信頼と尊敬がえられる活動の中心となるボランティアを養成する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		前年度の生涯学習大学講座(創年コース)から企画を変更し、「ふるさと発見創造講座」として開催した。学習内容として、主にグループ活動によるまち探訪を行い、まつどの魅力を再発見して、それをパワーポイントやポスターで伝えるプログラムとした。 ・ふるさと発見創造講座(グループ活動によるまち探訪)(全10回) 6/3～3/23						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		「ふるさと発見創造講座」として、グループ活動によるまち探訪を行い、まつどの魅力を発信していくプログラムとしており、前年度からの変更点は、新たなまちの魅力発見法と映像による発信法及びポスターによる情報発信について、学習内容の充実を図った。 ・ふるさと発見創造講座(グループ活動によるまち探訪)(全12回) 6/1～3/22						
松戸の教育参考ページ	P64[ふるさと発見創造講座]							

《 施 策 》

(6)市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

施策(6) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/3	66.7%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	2/3	66.7%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	1/3	33.3%			
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
学 (各種講座開催) 提供 (一部再掲) 業 (P32) (P37)	生 涯 学 習 推 進 課	【市民大学講座】 現在社会のさまざまな課題を取り上げ、地元大学や民間団体とも連携を取りながら開催する。							
		令和元年度の実施状況(Do)							
		市民に市内大学の施設を会場として、現代社会の様々な課題について、より専門性の高い内容の講座を提供するとともに、各大学の地域貢献活動に協力する。 ・市民大学講座参加者数 R1: 延べ1,759人(7講座25回開催)							
		担当課による定性評価(3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
				—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)							
		学習テーマや講師によって受講数に差が生じていることから、受講者アンケートの結果を大学側に提供し、市民ニーズを捉えた市民大学講座の企画運営に努める。							
松戸の教育 参考ページ		P63 [市民大学講座]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	社会教育課	市内各学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		・文化財については、文化財保護啓発活動や文化財調査に際し、市内ほか各大学の専門教員と連携するとともに報告書等を大学に送付し、情報共有を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
・文化財については、さらなる内容の充実を志向していくことが課題である。令和2年度も継続して市内他近隣の大学と連携して情報共有を行い、文化財調査や保護・活用に向けた協力体制構築を検討していく。								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地元の大学との連携方策の検討（P37）	生涯学習推進課	市内各大学が行う社会教育にかかわる学習機会の提供事業や各大学との連携により、市内の社会教育をより充実するための効果的なあり方について検討する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		公民館運営審議会の委員に市内大学の学識経験者が加わることにより、市民大学講座の開催や各種講座への講師紹介等、大学との様々な連携協力の可能性を含め、市民の生涯学習活動の更なる推進に向けて、意見や助言を頂いた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
引き続き、公民館運営審議会の学識経験者の意見や助言を活かし、各大学との効果的な連携協力の在り方を検討し、市民のニーズに応えられる事業の実施に努める。								
松戸の教育参考ページ		P110 [公民館運営審議会委員]						

【基本目標2】 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

《施 策》

(1)情報の周知、情報を得る方策への配慮

施策(1) 総合評価(事業課数 16)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	9/16	56.3%	9/16	56.3%	11/16	68.8%	11/16	68.8%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	6/16	37.5%	6/16	37.5%	5/16	31.2%	5/16	31.2%			
C	—	1/16	6.2%	1/16	6.2%	0/16	0.0%	0/16	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)				
広 報 活 動 の 推 進 (P38)	社 会 教 育 課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。				
		令和元年度の実施状況(Do)				
		・平成29年6月に旧齋藤邸が国の登録有形文化財に登録され、広く市民に生涯学習の場として活用して頂けるよう、松戸市ホームページへの掲載や広報まつど等へイベント開催について掲載し、チラシ等を各施設に配布した。 利用者数：R1：1,447人(881人減)、H30：2,328人				
		・文化財の保護・啓発では、松戸市ホームページへの掲載、文化財標識柱・説明板の設置、更新を行い、また学習資料として文化財マップの配布を実施した。文化庁、千葉県文化財課へも文化財の指定状況や活用状況を情報提供した。 ;文化財マップ配布数 R1：355部(H30：212部) ;文化財標識柱・説明板設置数 R1：138ヶ所(更新2ヶ所) H30：138ヶ所(新規2ヶ所、更新2ヶ所)				
		・美術関係では、「松戸の作家の個展」4回の開催情報を、松戸市ホームページや広報まつど電子モニター等に掲出し、広く周知を図った。併せて、「松戸の作家の個展」については、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関へ配布した。				
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30
	—	B	B	B	B	
令和2年度の方向性(Action)						
・広報まつどやHPへの掲載及び施設へのチラシ等配布を行い、継続的に広報活動を行っていく。広報の方法については、事業や講座の対象者層に応じて、効果的な周知方法や媒体、告知表現を検討し、活用する。 ・文化財については、情報を整理し、より市民目線でわかりやすい情報提供や成果物を志向していく。 ・「松戸の作家の個展」開催情報については、松戸市ホームページや広報まつど、電子モニター等に掲出し、周知を図る。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関等へ配布する。						
松戸の教育 参考ページ		P57 指定・登録文化財 P58～60文化財標識柱・説明板設置場所数、設置場所一覧				

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進(P38)	生涯学習推進課	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		市のホームページ、広報、ツイッター、パンフレット、チラシによる情報発信に加え、地域に根ざしたタウン情報誌へ情報提供を行った。 また、家庭教育に関する情報については、松戸市版幼児家庭教育パンフレットの配布に加え、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ、ユーチューブで動画を配信しPRをした。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、様々な媒体を活用し各種生涯学習事業に関する情報が多くの市民に伝わるよう創意工夫をして行く。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進(P38)	市民会館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		令和年度の実績として、公式ツイッターを特別投影や天文教室以外にも投稿を増やし、広報ボックス等も積極的に活用した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		新たな集客に繋がる広報活動の検討（放課後児童クラブや、子供食堂への掲示依頼等）						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	図書館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報戦略チームの活動を継続し、子ども読書推進センターの案内看板の設置や、図書館本館のサービス案内用パンフレットの作成・配布を行うなど、図書館サービスの認知度の向上のための積極的な活動を行った。 ・SNSを活用した広報活動として、Facebookを利用した。テーマ展示や、イベント等の周知のほか、図書館の投稿をフォローするように広報広聴課に依頼するなど、閲覧数の増加に努めた。 ・新型コロナウイルスの拡大に際し、市・県・国の有用な情報をまとめたリンク集をホームページに公開するなど、市民が必要とする情報を入手しやすくする工夫を行った。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報戦略チームの活動を継続し、新たな案内看板の設置等を行う。 ・SNSを活用した広報活動を継続するとともに、更新回数を増やすなど、閲覧数の増加のための工夫を行う。 						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進 (P38)	戸定歴史館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		広報まつど・市ホームページでの広報活動のほか、積極的な情報発信に努め、パブリシティ活動として、展覧会紹介等、戸定邸・歴史館が紹介されたものについては、毎日新聞等の新聞掲載件数11件、NHK等のテレビ撮影件数5件であった。また、収蔵資料の貸出件数は、41件にのぼった。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		令和元年度の成果を基礎として、博物館活動の基本を踏まえた上で、音楽や食などの領域での活動領域幅を広げ、新規来館者の開拓に努めるとともに、地域で活動する各種団体、個人との情報共有、共通目的の設定により、地域一体となった情報発信を進める。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
広報活動の推進(P38)	博物館	社会教育行政が行う市民を対象とした社会教育事業が広く市民に行き渡るよう、広報紙やホームページなどによる広報活動の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		博物館の年間スケジュールを一覧できる『年間行事案内』、展覧会ポスター・ちらしを作成して市内外の学校やその他の関係機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。 ・観覧者数 R1年度:(常設展示[総合展示・主題展示] 延べ12,666人) (企画展示等 延べ14,381人) H30年度:(常設展示[総合展示・主題展示] 延べ20,777人) (企画展示等 延べ23,653人)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		より効果的で広域的な情報提供を進めるため、ホームページやSNS等のデジタルメディアの活用等により幅広い世代に情報を発信し、更なる広報戦略の研究を行うなど積極的な広報活動の拡充を行っていく。						
松戸の教育 参考ページ	P92・93 観覧者状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
まつどまなびいネット(P38)	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報を登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を広げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。 (まつどまなびいネット) http://www.matsudo-s-edu.jp						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		・アクセス数 R1 : 21,795件 H30 : 27,653件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
		まつどまなびいネットでできることをまとめたリーフレットを各種講座開催時に受講者に配布する。 また、社会教育関係団体等などマイページを利用する団体に向けて、具体的な利用方法を説明できるようなリーフレットの作成及び説明会を実施する。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (再掲) (P32) (P38)	図書館	従来の図書資料だけでなく、行政資料や各種団体が発行するパンフレットなどを含め、課題の解決に必要な情報を広く提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的なレファレンスの一助となるよう、講座・展示に合わせた資料リストの作成・提供を行った。 松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料を積極的に収集し、提供した。特に、松戸市に関する行政資料を配置する「市政情報コーナー」(本館3階)のさらなる充実を図り、その所蔵数の増加に努めた。 市政情報コーナー所蔵数 R1:754冊 H30:701冊						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> 調べ案内(パスファインダー)など、市民の自主的なレファレンスの一助となる資料の作成を積極的に行う。 引き続き、松戸市および近隣市町村、および千葉県に関する行政資料の収集を進めるとともに、「市政情報コーナー」の充実を図る。 各種団体や機関が発行するパンフレットなどを、可能な限り収集できるように努める。 								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事内容に即した対象者への情報発信の強化 (P38)	博物館	展覧会・講座・講演会等の行事について、目的・内容に合わせて、興味・関心をもつと想定される対象者を選定し、情報の発信・提供の強化を図る(学習資料展「昔のくらし探検」:小学校への周知・校長会等でのPR、デイケアサービス等の福祉施設への広報など)。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		博物館の魅力伝えるため、博物館の様々な事業に関する情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 市長記者会見 R1年度:4回(館蔵資料展3回、企画展) H30年度:3回(館蔵資料展、企画展、特別展) 広報まつど R1年度:4回(館蔵資料展3回、企画展) H30年度:4回(館蔵資料展、企画展、特別展、学習資料展) ※講座・講演会は随時掲載 ・鉄道等公共交通機関の掲示 毎年展覧会ごとに掲示						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
博物館HP、SNS、市長記者会見、広報まつど、ミニコミ誌、デジタルサイネージ、鉄道等公共交通機関(ポスター・ちらし)、市内小中高等学校(ポスター・ちらし)等、また新しい生活様式に対応した独自のコンテンツにより、自宅でも楽しめる情報を発信し博物館の魅力を提供していく。								
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	教育企画課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		後援承認した行事のポスター掲示があった場合、市民センターや社会教育施設に提出を依頼し、当該行事の周知に努めた。 ・後援件数…23件 ・ポスター・チラシ提出…5件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	C	C	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
		各課においてポスター申請の事務の流れが統一されておらず、申請者(市民)にとって混乱を招きやすい状況にある。教育委員会から学校へポスター・チラシ配布について共通方法が定まったら、後援に係るポスター申請業務を整える。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	社会教育課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供になると認めたイベント等については、後援を行うとともに、そのイベント等を広く市民に行き渡るよう、社会教育施設等にポスターを提示をした。 ・後援件数 R1: 66件、H30: 77件 ・ポスター掲示件数 R1: 15件、H30: 30件						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
		今年度も、有益な行事については、引き続き、周知するための支援を行っていく。市民に対し周知の状況が把握できないことが課題であり、検証方法を検討する。						
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	市民会館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		掲示エリアのスペースも限られており、掲示にあたっては優先順位を考慮しながら掲示を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		年々掲示依頼も増えており、掲示にあたっては今後も優先順位を考慮し、掲示期間も明確にする。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター推進 (P39)	生涯学習推進課	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体からの申請に基づいたポスター掲出 R1 : 111件(内共催1件) H30 : 85件(内共催2件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、社会教育関係団体の申請に基づきポスターを掲示していく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	図書館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		主催団体及び関係課から依頼を受けたものについては、本館および市内19分館において、各館の掲示スペースの範囲内で掲示を行った。分館については、非常勤職員のみでの配置のため、予め市の共催、後援行事に関するものは掲示可とする旨を通知し、円滑な対応に努めた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		・開催される行事の数に対し、各館での掲示スペースが不足しているため、全ての依頼への対応が困難であることが恒常的な課題となっている。引き続き、可能な範囲での掲示を継続する。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	戸定歴史館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、歴史館や戸定邸内にてポスターやチラシの掲示等を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、ポスター掲示等の依頼があれば内容を確認した上で掲示等を行う。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
行事開催に伴うポスター掲示 (P39)	博物館	教育施策の推進上有益と認めた行事(共催)、また市民に対する学習機会の提供と認めた行事(後援)等については、団体の申請に基づき、市民センター、図書館・分館及び社会教育施設にポスターを掲示する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		教育施策の推進を図るため、博物館内においてポスター等の掲示を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、博物館内においてポスター等の掲示を行い、教育施策の推進を図っていく。						
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2)ICTを活用した情報提供の促進

施策(2) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	1/3	33.3%	2/3	66.7%	2/3	66.7%	1/3	33.3%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	2/3	66.7%	1/3	33.3%	1/3	33.3%	2/3	66.7%			
C	—	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(松 戸 市 つ ま ま ま な び い ネ ッ ツ 再 掲 ト P P 3 3 8 9)))	生涯学習推進課	社会教育関係団体、自主企画団体、生涯学習支援ボランティア、家庭教育学級の情報登録し、市民がこれらの情報を知ることによって、生涯学習活動への参加機会を上げ、生涯学習活動が更に活性化していくことを目指して開設するインターネット情報サイトの充実。社会教育関係団体等への操作方法を含めた研修を行い、「まつどまなびいネット」の利用促進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		まつどまなびいネットのできることをまとめたリーフレットを作成し、一層の利用促進を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方向性(Action)						
まつどまなびいネットのできることをまとめたリーフレットを各種講座開催時に受講者に配布する。 また、社会教育関係団体等などマイページを利用する団体に向けて、具体的な利用方法を説明できるようなリーフレットの作成及び説明会を実施する。								
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (再掲) (P32) (情報化推進) (P39)	図書館	インターネットによる蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会を行う。また、市民の調査研究等のため、市民が利用できるパソコンを整備し、インターネットや各種データベースの利用を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会が障害なく行えるよう、必要な保守環境等を整えている。 本館5階に、Wi-Fi環境を整備した「パソコン等利用室」の設置を行った。 明分館の移転(11月13日に移転オープン)に際し、館内のネットワーク環境を滞りなく整備し、図書館システムの遅滞ない運用開始を実現した。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した蔵書情報の公開、資料の予約、貸出し状況・予約状況の照会が障害なく行えるよう、必要な保守環境等の維持に努める。 図書館システムの質向上のため、必要な運用を検討するとともに、情報収集を進める。 								
松戸の教育参考ページ		—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
デジタル美術館 (P39)	社会教育課	松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に『デジタル美術館』を設ける。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報をいつでもどこでも見られるようにするため、「デジタル美術館」を設け、企画展や松戸の作家の展覧会情報等を随時更新し、情報を提供した。						
		<ul style="list-style-type: none"> 「松戸の作家の個展」 松戸の作家の展覧会情報 8点 松戸市教育委員会所蔵美術作品 計232点 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	B		
令和2年度の方角性(Action)								
<ul style="list-style-type: none"> 所藏品展「松戸のたからもの 松戸市美術コレクション」の情報を掲載 「松戸の作家の個展」や松戸の作家の展覧会情報等を掲載 松戸市教育委員会所蔵美術作品の追加掲載 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 動画を活用する等新たな掲載項目の検討(新型コロナ感染拡大の影響を踏まえて) 								
松戸の教育参考ページ		—						

《 施 策 》

(3)学習相談体制の充実

施策(3) 総合評価 (事業課数 7)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	3/7	42.8%	4/7	57.1%	4/7	57.1%	4/7	57.1%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	3/7	42.8%	3/7	42.9%	3/7	42.9%	3/7	42.9%			
C	—	1/7	14.4%	0/7	0.0%	0/7	0.0%	0/7	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	社会教育課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施した。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどした。						
		<ul style="list-style-type: none"> ・ R 1 : パートナー講座実施回数 4回 H30 : パートナー講座実施回数 3回 ・ R 1 : 小学校の授業 1回 (北部小学校) H30 : 小学校の授業 1回 (北部小学校) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方向性(Action)						
文化財は、対象となる時代や地域、内容が広範囲にわたることから、職員は幅広く専門的な相談への対応が必要になっている。令和2年度は随時相談を受けつつ、内容により可能な範囲での対応を図っていく。特に個人的な学習支援の促進の強化を検討する。								
	松戸の教育参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		各相談者の学習ニーズを把握し、主催する各種講座やニーズに沿うその他社会教育関係団体の情報等を提供する。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
引き続き、各相談者の学習ニーズを丁寧に聞きとり、ニーズに即した情報等を提供する。また、「人生100年時代の生涯学習活動」の重要性を踏まえ、まなびいネットの利用促進や生涯学習の専門的な相談員として対応できるような職員の育成を図る。								
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス窓口の担当者 R1: 6名 H30: 6名 レファレンス経験年数平均 R1: 3年 H30: 2.5年 レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス処理件数※ R1: 182件 H30: 249件 						
		※新型コロナウイルスの影響により3月はレファレンスサービスの提供なし						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
令和2年度の方向性(Action)								
<ul style="list-style-type: none"> 多様な相談に対応できるよう、職員研修の充実に努める。 より多くの市民にレファレンスを提供できるよう、サービスの提供について積極的な案内を行う。 								
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	戸定歴史館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		中高年層の団体見学の依頼が多く見られ、学芸員のほかボランティアガイド等を活用し、文化財への造詣を深めてもらった。 また、市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には、学習支援専門員を中心に、可能な限り対応した。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、市内小中学校の校外学習や学習活動を主目的とした団体からの解説依頼には可能な限り対応することを目指す。多数の依頼に対して、学芸業務職員が1名となり、その他研究員が勤務しているが、週3日程度であることから対応に限界があるという点が課題である。また、感染症拡大防止の観点から、対人間の接触が高リスクであるため、事業実施方法を工夫する必要がある。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	博物館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> 市民からの対面・電話・メールによる学術的な相談への対応(学芸員)。 常設展示、企画展示・資料展示における展示解説および相談対応(学芸員)。 パートナー講座 R1年度(0回) H30年度(3回) 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、学芸員の相談体制、図書閲覧コーナーでの相談、個人・団体からの相談を充実させる。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育推進事業 (社会教育指導員関係) (P40)	生涯学習推進課	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		社会教育指導員を配置し、重要課題である家庭教育力の向上事業について指導・助言および学習相談に応じた。また、青少年の健全育成事業についても、指導・助言を行うとともに関連する講座、教室等を企画、実施を行った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方方向性(Action)						
		引き続き、社会教育指導員を配置し、関連事業の更なる推進に向けて適宜適切な指導・助言と講座、教室等の企画、実施に取り組む。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
社会教育活動に資する学習相談体制の充実 (P40)	図書館	市民の社会教育活動に資するため、一人ひとりの具体的な学習内容、方法等の相談に応じる学習相談体制の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> レファレンスに対応できる職員数の維持、経験年数の蓄積を図るため、引き続きレファレンス窓口のローテーション制を維持するとともに、能力の向上に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス窓口の担当者 R1: 6名 H30: 6名 レファレンス経験年数平均 R1: 3年 H30: 2.5年 レファレンスサービスの質向上のため、参考図書を積極的に収集するとともに、レファレンスサービスの提供について積極的な案内を行った。 <ul style="list-style-type: none"> レファレンス処理件数※ R1: 182件 H30: 249件 						
		※新型コロナウイルスの影響により3月はレファレンスサービスの提供なし						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方方向性(Action)						
<ul style="list-style-type: none"> 多様な相談に対応できるよう、職員研修の充実に努める。 より多くの市民にレファレンスを提供できるよう、サービスの提供について積極的な案内を行う。 								
松戸の教育 参考ページ	—							

【基本目標3】 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

《 施 策 》

(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり

施策(1) 総合評価 (事業課数 6)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/6	33.3%	5/6	83.3%	6/6	100%	6/6	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/6	66.7%	1/6	16.7%	0/6	0.0%	0/6	0.0%			
C	—	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)														
学 習 機 会 （自主企画活動支援） 業 （P41）	生 涯 学 習 推 進 課	<p>【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。</p>														
		令和元年度の実施状況(Do)														
		<p>市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり新たに市民自主企画団体を結成に繋がった。</p> <p>・市民自主企画講座参加人数 R 1: 延べ2,184人(27講座76回開催) H30: 延べ2,134人(26講座75回開催)</p>														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td></td> </tr> </table>	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2		—	B	A	A	A	
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2								
			—	B	A	A	A									
令和2年度の方角性(Action)																
<p>学習グループの自立を促し主体的に活動させることや、ともに学ぶボランティア活動促進につなげることが課題である。また、市民自主企画講座において、より効果的、効率的な事業展開を図るため、市民自主企画団体への支援範囲や制度設計の改善、見直しを行っていく。</p>																
松戸の教育参考ページ	—															

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民文化活動支援事業 (P41)	生涯学習推進課	松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供し、市民文化活動を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・第71回松戸市文化祭 令和元年9月29日～12月1日(文化会館・文化ホール他) <ul style="list-style-type: none"> 展覧会 出品者数 148人 出品点数 223点 観覧者数1,518人 催し 出演者数3,128人 観覧者数 5,697人 展覧会(地域) 出品者数 537人 出品点数 2,497点 観覧者数3,657人 催し(地域) 出演者数 594人 観覧者数 1,707人 ・第54回松戸市美術展覧会 令和元年6月11日～6月30日(文化ホール) <ul style="list-style-type: none"> 出品点数 312点 観覧者数 3,028人 ・第46回松戸市書道展覧会 令和2年3月24日～3月29日(文化ホール) <ul style="list-style-type: none"> → 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催が中止になった。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、松戸市文化祭、美術展、書道展等社会教育関係団体の発表及び交流の場を提供する。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分に講じながら、状況に応じて開催を検討していく。						
松戸の教育参考ページ	P67・68 (3)市民文化活動							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業 (P41)	図書館	子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしボランティア研修会 <ul style="list-style-type: none"> R1: 20回(延参加者数1,869名) ※ H30: 22回(延参加者数2,170名) ・おはなしボランティア養成講座 <ul style="list-style-type: none"> R1: 5回(延参加者数172名) H30: 5回(延参加者数 209名) ※ 新型コロナウイルスの影響により、3月の開催は中止。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書普及活動を行うボランティアを育成するために研修を行う。 ・社会情勢を考慮し、開催方法を工夫しながら、講座・イベントを行うことを検討していく。 ・ボランティア団体自らがネットワークを構築し、活動を広げられるよう自主性を促していく。 						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化 振興 財団 運営 費補 助 (P 4 1)	社 会 教 育 課	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		令和元年度も、引き続き、公益財団法人松戸市文化振興財団に運営費を補助し、文化芸術活動を支援した。10公演の内、新型コロナウイルス感染症拡大防止により3公演が中止となったため、人数は減少したが、多様なジャンルの公演を行い、松戸市の市民文化の創造、文化の振興に寄与することができた。 ・主催事業：R1年度 7公演 9,269人 ・主催事業：H30年度 10公演 13,748人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、公演数減が見込まれるため、どのようにして、市民に舞台芸術鑑賞の機会を提供できるか、松戸市文化振興財団と連携し、検討していく。						
松戸の教育 参考ページ	P103~104 社会教育施設利用状況 P106 9文化振興財団							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
ま ち づ く り 人 材 育 成 支 援 事 業 (P 4 1)	生 涯 学 習 推 進 課	地域の課題等を見つけ解決していく手法を学び、地域活動に積極的に関わるリーダーとなる人材の育成を行う。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸フューチャーセンター事業として、多様な人々が集まり未来志向の対話を通して課題の解決が図れる人材を育成するための講座を開催した。 ・ファシリテーション体験講座 4回 延べ58人 ・職員研修 2回 延べ32人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、松戸フューチャーセンターの人材育成事業として、未来志向の対話から課題解決が図れるよう学習プログラムを工夫して、学ぶ機会を提供する。						
松戸の教育 参考ページ	P71・72 (6)フューチャーセンター取組(セッション開催)状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	社会教育課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		社会教育関係団体に関する事業展開については、生涯学習推進課で事業を実施、評価をおこなっており、社会教育課は評価対象外としております。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	—	—	—	—	
		令和2年度の方向性(Action)						
		必要に応じて連携を図ってまいります。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 (P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体等における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をするとともに、社会教育関係団体等のリーダーなどが相互に交流する「(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業」のあり方を調査研究する。その成果と課題を踏まえながら事業の開催に努める。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		生涯学習講座の受講生や市民自主企画団体、社会教育関係団体、これから学習や地域活動始める多くの市民を対象に「まつど生涯学習フォーラム」を開催し、近隣自治体での市民大学の現状や取り組み、NPO団体の活動、地域活動、ボランティア活動など、様々な実践事例を紹介し、今後の活動のきっかけづくりや情報交換の場を提供した。						
		・まつど生涯学習フォーラム 9/19 R1:参加者308人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	A	A	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
引き続き地域の担い手を目指すきっかけづくりや成果発表、事例発表の場として、生涯学習フォーラムを開催する。								
・まつど生涯学習フォーラム 未定								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(2)施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進

施策(2)総合評価(事業課数15)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	5/15	33.3%	5/15	33.3%	7/15	46.7%	7/15	46.7%			A:施策の目標どおり推進できた B:施策について概ね順調に推進している C:施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	7/15	46.7%	9/15	60.0%	8/15	53.3%	8/15	53.3%			
C	—	3/15	20.0%	1/15	6.7%	0/15	0.0%	0/15	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
矢切公民館管理運営事業(P42)	生涯学習推進課	社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動を支援する社会教育施設として、学習の場を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		利用状況:2,269 件[32,245人](内社会教育関係団体1,751件[20,730人]) 矢切公民館文化祭・音楽祭を今年度も実施した。 文化祭:来場者数406人(10団体参加) 音楽祭:来場者数328人(10グループ116人出場)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。 矢切地区に限らず、市内全域の利用促進を図る。 文化祭・音楽祭については役員・団体と連携し、よりいっそうの内容の充実と来場者数増加を図る。						
松戸の教育参考ページ	P65[文化祭][音楽祭] P95[矢切公民館] P102[矢切公民館]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
タウン ス ク ー ル 管 理 運 営 事 業 (P 4 2)	生 涯 学 習 推 進 課	市立根木内小学校内の余裕教室を「タウンスクール根木内」として、地域の学習活動等に提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		利用状況:560件[5,928人](内社会教育関係団体41件[258人])						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。						
松戸の教育 参考ページ	P95【タウンスクール根木内】 P102【タウンスクール根木内】							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青 少 年 会 館 管 理 運 営 事 業 (P 4 2)	生 涯 学 習 推 進 課	市内青少年の健全育成と教養の向上を図るために設置した施設であり、仲間づくりの場や学習機会を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		施設の老朽化による修繕も継続的に発生しているが、その都度対応しているため利用ができなくなる等の状況には至っていない。 新型コロナウイルス感染防止に伴う閉館などにより施設利用者は減少に転じた。 R 1: 利用件数・人数 本館:4,249件・78,034人／分館: 957件・14,266人 H30: 利用件数・人数 本館:4,664件・86,275人／分館: 1,151件・17,080人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
		施設の老朽化対策の工事(外壁・受水槽・体育室照明)を実施する。 施設の老朽化に対応できるよう、引き続き計画的な修繕を図る。 利用者の利便性を図ると共に、更なる周知に努め利用者の増加を図る。 青少年の居場所として、仲間づくりや地域の人たちと触れ合うことができる場所を提供。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行う。						
松戸の教育 参考ページ	P102 8社会教育施設利用状況(青少年会館本館・青少年会館分)							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
図書館管理運営事業 (再掲)(P32) (業)(P42)	図書館	市民の暮らしに役立つ蔵書の充実を図るとともに、読む事の困難な方々への支援になる資料を整備する。また、市民の抱える課題の解決に資するため、レファレンスサービス等の充実を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・小さい字に読みづらさを感じる方が不自由なく読書を行えるよう、大活字資料の収集を進めた。 ・大活字資料所蔵数 R1:2,270冊 H30:2,217冊 ・さまざまな外部研修への職員の派遣を行うとともに、館内職員研修(3回/年※)を行い、レファレンス能力等、専門的な職員の資質向上を図った。 ・職員派遣研修数(庁内研修除く) R1:39回 H30:39回 ※ 新型コロナウイルスの影響で館内研修は3回のうち1回中止。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	C	B	B	B		
		令和2年度の方向性(Action)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・知識や情報への平等なアクセスを保障するため、大活字資料、外国語資料をはじめ、多様な資料を収集する。 ・外部研修への職員派遣、および館内研修の充実に努め、専門的職員の資質向上を図る。 						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化ホール管理運営事業 (P42)	生涯学習推進課	市民の学習の場として、多様な文化活動の発表の場のために設置した施設であり、更なる利用の促進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・美術展、書道展、写真展等の各種展覧会等の利用状況 文化ホール利用件数 R1: 57件 H30:63件 利用人員 R1: 41,859人 H30:40,350件 ・令和元年度は備品劣化に伴う利用者への安全配慮のため、長機の購入を行った。引き続き令和2年度も利用者の安全配慮のため、長機などの備品の取り換えを行うと同時に、新型コロナウイルス感染症拡大予防として、飛沫感染予防シートの設置及びアルコール消毒液の準備を進めていく。 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、利用者ニーズに適切に応えて行く為、施設設備の維持管理に努め、一層の利用促進を図る。 また、新型コロナウイルス感染症拡大予防として、飛沫感染予防シートの設置及びアルコール消毒液の準備を進めていく。						
松戸の教育 参考ページ	P97【文化ホール】 P103【文化ホール】							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民劇場管理運営事業 (P43)	社会教育課	市民の芸術及び文化活動の場を提供するために設置した施設であり、さらに団体などの利用に供し、広く市民の活用の促進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<p>管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、松戸市文化振興財団において、HPを適宜更新し、情報発信を行った。維持管理の面では、計画的に修繕や工事をを行い、市民が安全に利用できるよう努めた。</p> <p>令和元年度は、10月～12月の3ヶ月の休館と新型コロナウイルスの影響により、利用者数は前年より減少した。しかしながら、歩道に面した外壁改修を行い、市民の芸術及び文化活動の場として、安全な施設を提供することが可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数等：R1：49,309人（994件） ・利用件数等：H30：78,985人（1,793件） 						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方方向性(Action)						
		市民に安全に利用して頂くため、日々点検を行いながら、計画性をもって適切に管理、修繕を行っていく。休館日のみの工事実施や他施設の休館期間等の制約、各修繕費が非常に高額なため、予算を平準化して実施できるか、などが課題であり、他施設と調整を図り、進めていく。						
松戸の教育 参考ページ	P103 8社会教育施設利用状況〔市民劇場〕							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
市民会館管理運営事業 (P43)	市民会館	ホール、会議室、ながいき室及びプラネタリウム室他を備えており、市民に文化・芸術の振興、生涯学習の普及及び地域コミュニティの場を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<p>利用者の安全確保のため、ホール棟屋外避難階段改修工事を実施。また、設備の老朽化に伴い舞台大黒幕および一文字幕用手動ウインチ等の交換を行った。</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方方向性(Action)						
		竣工（昭和39年11月）後55年が経過し、建物・設備等の老朽化が著しいため、中短期的な計画を立てた修繕が望まれる。なお、工事の時期については、他のホールと連携し、工事が重なって利用者に不便を来さないように配慮する必要がある。						
松戸の教育 参考ページ	P105 8社会教育施設利用状況〔市民会館〕							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
文化会館管理運営事業 (森のホール21)(P43)	社会教育課	市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るために設置した施設であり、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として、さらに人々の芸術文化活動を支援する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		管理運営面では、市民の利便性の向上を図るため、松戸市文化振興財団において、HPを適宜更新し情報発信を行った。 維持管理の面では、令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者数は前年より減少したが、熱源機器修繕、大小ホール舞台機構、大ホール舞台照明、大ホール舞台音響の修繕を実施するなど、計画的に修繕や工事を行い、市民文化の振興及び市民福祉の増進を図るため、芸術、文化の鑑賞、発表等の市民参加の場として市民が安全に利用できるよう努めた。 ・利用件数等： R1：295,727人(3,127件) ・利用件数等： H30：333,365人(3,388件)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方方向性(Action)						
		市民に安全に利用して頂くため、日々点検を行いながら、計画性をもって適切に管理、修繕を行っていく。休館日のみの工事実施や他施設の休館期間等の制約、各修繕費が非常に高額なため、予算を平準化して実施できるか、などが課題であり、他施設と調整を図り、進めていく。						
松戸の教育参考ページ	P104 8社会教育施設利用状況[文化会館]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
松雲亭管理運営事業 (P43)	戸定歴史館	茶室である松雲亭の利用促進を図り、社会教育施設として、茶道だけでなく、様々な文化的活動に対し、市民の文化的教養を深める機会及び学習の場を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		茶道のほか、香道、短歌、俳句、吟行、吊るし雛の展示、歴史勉強会、朗読会、甲冑の製作・着用体験などに利用された。 ・利用者の延べ人数 5,498人・146件 (前年度 6,454人・180件) ※新型コロナウイルスの影響で年度内は3/3より休館						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方方向性(Action)						
		茶道に限らず様々な芸術文化的活動に対し、文化的教養や芸術的教養を深める機会の提供と歴史や文化芸術に係わる学習の場を提供していく。						
松戸の教育参考ページ	P94 6戸定歴史館[松雲亭の貸出]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館管理運営事業 (P43)	博物館	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置した施設であり、利用者が安全で快適な環境で学習できるよう更なる利用の促進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		開館後27年が経過し施設の老朽化が進み、縄文の森への連絡通路においては劣化が酷いため改修工事を行うなど施設整備を図った。 ・博物館利用者数 R 1年度 (57,676人) H30年度 (81,412人)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	C	C	B	B		
		令和2年度の方向性(Action)						
		博物館の老朽化問題については、利用者に安全で快適な施設を提供するうえで、重要な課題である。損傷状況に応じ、年次計画で修繕等を行い施設の適正な維持管理を図る。なお、令和2年度は屋上防水の改修工事を行う。 また、21世紀の森と広場地域の利用者増をめざして、関係課との事業連携を進めていく。						
松戸の教育参考ページ	P24 博物館管理運営事業							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
シティ・ミニコンサート開催事業(P43)	生涯学習推進課	松戸にゆかりの音楽家を市役所(市議会議場)に招き、毎月第3水曜日に定期コンサートを開催する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		第238回平成31年4月17日(水)春の歌、愛の歌 小酒部 晶子(メゾソプラノ)徳川 眞弓(ピアノ) 第239回令和元年5月15日(水)風薫る5月 福井 啓太(ヴァイオリン)浦島 晶子(ピアノ) 第240回令和元年6月19日(水)ヨーロッパの風を感じて 伊東 優梨(フルート)青木 佑磨(ピアノ) 第241回令和元年7月17日(水)ファゴットは歌うよ♪ 磯 さやか(ファゴット)小池 亜季(ピアノ) 第242回令和元年8月21日(水) 早秋の香り。ヴィオラとギターのリズムにのせて 加藤 大輔(ヴィオラ)尾尻 雅弘(ギター) 第243回令和元年9月18日(水)ドイツ・オーストリアの作曲家たち 大場 温子(ピアノ) 第244回令和元年10月16日(水)ピアノの世界 高橋 優介(ピアノ) 河上 龍太郎(ユーフォニアム)若山 修平(クラリネット) 第245回令和元年11月20日(水) ハープで楽しむ癒しのメロディ 小橋 ちひろ(ハープ) 第246回令和元年12月18日(水)クリスマス・あなたに贈るベルカント 三橋 あゆみ(ソプラノ) 金子 加寿美(ピアノ) 第247回令和2年1月15日(水) ヴァイオリンとヴィオラの魅力を奏でる二重奏の世界 井崎 真理(ヴァイオリン) 富岡 怜子(ヴィオラ) 第248回令和2年2月19日(水)春に焦がれて… 高島 恵子(ソプラノ)中村 文美(ピアノ) ※3月の開催はコロナウイルスの関係で中止						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、お昼のくつろぎの時間を利用して、芸術性の高い音楽を市民や職員に提供すると共に、松戸市ゆかりの演奏者を、中心とした音楽活動の提供の場として、市民の音楽文化の涵養に寄与する。コンサートの開催事業のため、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベント開催における感染防止対策を十分に講じるとともに、従来の開催方法の見直しを行っていく。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
生涯学習センター計画事業（P43）	社会教育課	図書館整備計画と連携した、生涯学習センターの計画策定に着手する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		図書館機能を中核とする文化複合施設として、方向性をより具体化するため、街づくり部、財務部、生涯学習部、経済振興部の4部で連携を図り、建設の必要性について検証を重ねた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、4部で連携を図り、文化複合施設の建設の必要性について検証を重ね、施設として方向性をより具体化する。						
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業（P43）	社会教育課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		東松戸にある旧齋藤邸において、季節のミニコンサートを夏と秋の2回開催し、旧齋藤邸祭りでは、コンサートやアートパネル、写真の展示などを行った。学習支援専門員による絵手紙講座等も開催。10月から、第4土曜日開邸を試行開始し、地域の居場所づくりを試みている。なお、新型コロナウイルスの影響により、利用者数は前年より減少した。 【利用者数】 R1：1,447人（H30：2,328人）						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	C	B	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
新型コロナウイルスに伴い、講座の定員を減らすなど感染防止策を検討しながら、旧齋藤邸が生涯学習の場として市民に広く利用していただけるよう、検討していく。								
松戸の教育参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業（P43）	生涯学習推進課	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		利用状況:2,269 件[32,245人](内社会教育関係団体1,751件[20,730人]) 矢切公民館文化祭・音楽祭を今年度も実施した。 文化祭:来場者数406人(10団体参加) 音楽祭:来場者数328人(10グループ116人出場)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
引き続き、利用者が快適に学習活動等できるよう適切な管理運営に努める。また、学習の成果の発表の場の提供や居場所の支援を実施していく。								
松戸の教育参考ページ	P65 [文化祭] [音楽祭]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
地域の居場所づくり促進事業（P43）	図書館	地域で人々が、気軽にあつまり、学習や交流、自作品の発表、囲碁・将棋、俳句・短歌など趣味や学習の成果を生かすことのできる場所として、地域の居場所づくりを支援する。						
		・居場所づくりに関する調査・研究						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		・本館5階の学習室を図書館資料を使用した学習の場として提供し、隣接する休憩コーナーを交流の場として開放した。また、明分館に併設するフリースペースを、他世代間の交流の場として開放した。 ・本館5階に、Wi-Fi環境を整備した「パソコン等利用室」の設置を行い、学習の場としての基礎的環境整備を進めた。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	B	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
・地域の居場所としての役割を担えるように、必要な調査・研究を行う。								
松戸の教育参考ページ	—							

《 施 策 》

(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導

施策(3) 総合評価(事業課数6)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	5/6	83.3%	5/6	83.3%	5/6	83.3%	5/6	83.3%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/6	16.7%	1/6	16.7%	1/6	16.7%	1/6	16.7%			
C	—	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%	0/6	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 (各種講座開催) 提供 一部再掲 業 (P32) (P44)	生 涯 学 習 推 進 課	【ふるさと発見創造講座】 自らの生活課題や社会的課題に即した学習をはじめ、松戸の歴史・文化・環境などを調査研究しその成果をまとめ市民に伝えるなど、社会貢献活動にかかわる学習グループづくりを目指した学習機会を提供する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		生涯学習大学講座を修了した方を対象に、より専門的な学習や地域活動、団体活動、ボランティア活動等を実践的に始めるきっかけとなることを期して開催した。 ・ふるさと発見創造講座 R1: (全10回) 6/18~3/23 延べ128人 H30: (全10回) 5/18~3/8 延べ186人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
昨年度は、受講生のリピート率の多さや学習内容のマンネリ化が続いていたため、講座名を変更して開催したが、講座内容の不明確さや生涯学習大学講座との繋がりが、生涯学習の段階的なステップアップ講座としては難易度が高いと感じられたため、従前の講座名「ふるさと発見創造講座」として開催し、講座コーディネーターも従来とは別の講師に依頼して講座の刷新を図る。								
松戸の教育 参考ページ	P64 [ふるさと発見創造講座]							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 提 供 事 業 (P 4 1) (再 掲 業 (P 4 4))	生 涯 学 習 推 進 課	【市民自主企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座を開催した。講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきており、またテーマによっては興味、関心が高い市民同士が集まり新たに市民自主企画団体を結成に繋がった。 ・市民自主企画講座参加人数 R 1：延べ2,184人(27講座76回開催) H30：延べ2,134人(26講座75回開催)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、現在の自主企画団体の活動を支援するとともに、各種講座等の受講者から新たな自主企画団体が誕生するよう機会ある度に働きかける。また、設立して相当期間が経過した団体には、自立を促し主体的に活動させるとともに、生涯学習活動で培ったものを地域活動に活かすよう動機付けを行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学 習 機 会 提 供 事 業 (P 4 1) (再 掲 業 (P 4 4))	生 涯 学 習 推 進 課	【生涯学習支援ボランティアバンク】 地域社会をよくするために、市民が主体となり学習した成果や自らの経験や知識を生かすことを目的とした生涯学習支援ボランティアバンクを設置し、学習支援の促進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		まつどまなびいネットや市ホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、利用促進を行った。 支援内容 ・編み物指導 18人(延べ432人) ・書道指導 30人 ・童話等拡大写本作成と弱視児童へ寄贈、展示・実演(延べ334人)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)						
		引き続き、まつどまなびいネットやホームページに生涯学習支援ボランティア登録者の情報等を掲載し、広く市民に周知し、利用の促進を図る。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
博物館友の会支援・協働事業 (P44)	博物館	【市民企画講座】 市民が自ら学んだ成果の発表の場として、生涯学習推進課と連携しながら市民自主企画講座を実施することで、共に学ぶボランティア活動促進につなげることを目的として開催する。また、テーマを持った市民同士のネットワークができるよう支援する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		社会教育団体である博物館友の会に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施した。 ・ 共済事業 R 1年度 講演会 (6事業)、体験教室 (4事業) H30年度 講演会 (6事業)、体験教室 (11事業)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	B		
		令和2年度の方角性(Action)						
		大学生・高校生の利用が少ないのが現状である。友の会との共催事業をこれまで以上に活発化するとともに、友の会への支援、宣伝への助力、ポスター掲示等を行う。						
松戸の教育 参考ページ	—							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
成人式開会事業 (P44)	社会教育課	「国民の祝日に関する法律」に定められた「成人の日」の趣旨である、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ため、新成人自らが企画運営する成人式を開催する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		本市の成人式は、新成人自らが企画運営する参加型学習機会の場としている。新成人スタッフは、市内の四季を映す「記念映像」や人生でお世話になった人への感謝を伝える「新成人の主張」等、式典を通して企画したことを実践へ結びつける経験を積み、自己実現を図ることができた。 ・ R 1 成人式出席者数 : 2,906人 ・ H30 成人式出席者数 : 2,932人 成人式出席率 : 59.7% 成人式出席率 : 59.4% 新成人スタッフ : 13人 新成人スタッフ : 15人						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		新型コロナウイルス感染症の今後の見通しが見つからない状況だが、松戸市として、多くの新成人を祝うことができるよう、方法を検討していく。						
松戸の教育 参考ページ	P54 成人式開催状況							

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
美術文 (地域美術振興支援) 事業(P44)	社会教育課	松戸市在住・在勤美術家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して地域の文化芸術活動の振興を支援する。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		松戸市在住・在勤美術作家4人の活動を個展形式で市民に紹介する「松戸の作家の個展」を開催し、その情報を広く市内外に発信した。 ◆会場 : 森のホール21アートスペース(エントランスホール) ◆開催期間: 令和元年6月18日から令和2年3月22日(1回約2ヶ月間×4回) ◆参加作家: 4人(遠藤つるえ氏、オザキ・ユタカ氏、黒澤朝子氏、久芳真純氏)						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	A	A	A	A		
		令和2年度の方角性(Action)						
		本事業を継続して実施する。 展示作品を平面に限っているが、作家の年齢層やジャンル等が偏らないように配慮する。 【課題】 ・展示環境の向上 ・出品可能な美術作家の発掘						
松戸の教育 参考ページ	P61(3)美術館準備室							

【基本目標4】 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

＜施策＞

(1)家庭教育の充実

施策(1) 総合評価(事業課数1)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%	1/1	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている又は未実施
B	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)									
家庭教育力向上 (一部再掲(P34)) 事業(P45)	生涯学習推進課	家庭教育力の向上を支援するため、幼児、小学生、中学生の保護者に学習機会を提供する。 ・家庭教育学級 ・幼児家庭教育学級講座 ・中学校家庭教育学級 ・市全体として家庭教育力を支援する方策の研究									
		令和元年度の実施状況(Do)									
		家庭教育力向上の一環として、保護者同士が交流したり、子育てや家庭のことを学んだりする場として、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級や講演会等を行なうとともに、小学校45校の地域の特性をいかした家庭教育学級へ相談支援をおこなった。また、共働きやひとり親世帯の方も参加し子育てについて対話できる場を開催した。 ・小学校家庭教育学級45校設置 学級生1224名 学習会延べ回数377回 学習会参加延べ人数6588名 合同開級式・合同閉級式・家庭教育講演会、研修会、推進校会議等 9回 参加延べ人数747名 ・幼児家庭教育学級講座 幼児家庭教育学級講座 16組 延べ参加人数65名 入学直前家庭教育学級講座 2回 参加人数14名 ・中学校家庭教育学級 5回講座 延べ参加人数 259名 ・市全体として家庭教育力を支援する方策の研究 川島隆太教授 家庭教育支援講演会 2/8 栗ヶ沢中学校 参加人数 236名 パートナー講座 42講座 参加人数1541名 パンフレット内容検討：心の脳と読書について掲載 幼児教育課・学校教育部・幼稚園・保育園・小学校等と連携									
		令和2年度の方角性(Action)									
		・共働きやひとり親世帯においては家庭教育の講座や講演会に参加できない状況にある。そういった家庭の保護者も参加できる機会として土曜日の講座や親子で参加できる講座の工夫をしていく。 ・発達段階に応じた家庭教育の推進として、保護者のニーズに応じた小学校入学直前講座を充実し展開していくとともに、幼稚園、保育園の保護者と小学生の保護者との連携を模索していく。 ・家庭教育啓発パンフレットの動画を活用したパートナー講座を開発・開催をする。 ・小学校家庭教育学級では、各小学校家庭教育学級の特色や運営状況を把握に努め、状況に応じ、社会教育指導員とともに、きめ細やかな支援を行うとともに充実した学習会となるよう研修会等の持ち方を工夫していく。									
	担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
		—	A	A	A	A					
	松戸の教育参考ページ	P66(2)家庭教育学級等の状況									

《 施 策 》

(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進

施策(2) 総合評価(事業課数3)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	1/3	33.3%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	4/4	100%	3/3	100%	3/3	100%	2/3	66.7%			
C	—	0/4	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%	0/3	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (学校支援地域連携) (P45)	教育企画課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		新たに1学校区を加え、3学校区体制で事業の推進を図り、既に定着している地域と学校との協働体制を強固なものとし、地域ボランティアがより活動しやすい環境整備に努めた。 地域の個性・実情に合わせた取り組みがそれぞれの学校区で行われており、広報誌においてその取り組みの周知を図った。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
令和元年度における国、県の補助金が事業開始後初の減額となり、事業継続に向けた資金的状況の厳しさが増している。 来年度の事業予算確保に向けた検討と共に、地域の活発な活動を停滞させることのないよう、支援体制を模索していく。								
松戸の教育参考ページ						—		

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	社会教育課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		平成29年度以降は、教育企画課で事業を実施、評価を行っており、社会教育課は評価対象外としております。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	—	—	—	
		令和2年度の方角性(Action)						
平成29年度以降、必要に応じて連携を図っております。								
	松戸の教育 参考ページ	—						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
学校を核にした地域コミュニティづくり事業 (P45) (学校支援地域連携)	生涯学習推進課	地域全体で学校が行う教育活動を支援する仕組みを構築し、学校支援ボランティア等の地域教育力の育成・活用を進めることにより、開かれた学校づくりと学校支援を通じた地域の連帯感の形成を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		まつど生涯学習講座、ふるさと発見創造講座、成人講座、市民自主企画講座、生涯学習フォーラム等の各種生涯学習事業を通して、子育てや学習支援をはじめ地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組んだ。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	B	
		令和2年度の方角性(Action)						
引き続き、各種講座を通して地域の担い手(ボランティア含む)の育成に取り組む。								
	松戸の教育 参考ページ	P62～P64(1)講座状況						

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
幼児・児童の読書普及事業 (P41) (P45)	図書館	ボランティアを支援し、家庭や学校と連携した、地域における子どもの読書活動の推進を図る。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での読み聞かせや親子絵本講座を実施し、保護者やボランティアの読み聞かせ活動の支援をした。 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座等(研修会含む) R1:17回(303名)※ H30:17回(404名) ・図書館おはなしボランティアを育成して、おはなし会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 R1:509回(延参加者12,667名)※ H30:404回(延参加者10,335名) ・家庭教育学級や保育所等に講師を派遣し、本の選び方や読み聞かせの方法についての出前講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣 R1:8回※ H30:9回 ※新型コロナウイルスの影響により、3月の開催は中止。						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			—	B	B	B	A	
		令和2年度の方向性(Action)						
保護者やボランティアの支援及び学校、保育所等の連携を図る。 また、社会情勢に柔軟に対応し、子どもの読書活動の充実に努める。								
松戸の教育 参考ページ	—							

《 施 策 》

(3) 多様な学習、体験活動の充実

施策(3) 総合評価(事業課数2)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	2/2	100%	2/2	100%	2/2	100%	2/2	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%			
C	—	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%	0/2	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)							
青少年会館 学習機会提供事業 (P36)	生涯学習課	<p>青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教室 ・青年講座 							
		令和元年度の実施状況(Do)							
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施青少年教室 R 1:47教室 延べ参加者数2,343名 H30:47教室 延べ参加者数2,346名 文化系、スポーツ系、体験型等、幅広い分野からプログラムを企画し、提供した。市内高校の部活動の生徒が小中学生向けの青少年教室の講師となり、高校生と小中学生の双方にとって活動への理解を深め、交流する機会となる講座を実施した。 ・実施青年講座 R 1:7講座 延べ参加者数147名 H30:7講座 延べ参加者数271名 <p>身近な課題を取り上げ、共に学習をすることで、出会いや仲間作りの機会を提供した。</p> <p>青少年教室、青年講座共に新型コロナウイルス感染防止のため、講座の一部を中止した。</p>							
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)		H27	H28	H29	H30	R1	R2
				—	A	A	A	A	
		令和2年度の方角性(Action)							
		<p>(青少年教室) 新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安心して参加できる内容の講座を企画運営し、参加促進に努める。多くの子どもたちが参加できるよう、青少年会館以外の場所でも開催する。</p> <p>(青年講座) 青年講座では若者の興味を引く内容の講座を企画し、参加しやすい曜日・時間帯を考慮して実施していく。</p>							
		松戸の教育参考ページ		P73~P75(7) 青少年会館講座状況 [青少年教室]・P78[青年講座]					

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年 活動支援事業 (一部再掲)(P34) (P46)	生涯学習推進課	青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		<p>・文化祭&青年フェスティバル 青少年会館主催の講座や会館を利用する青少年団体等の成果発表を行うとともに、団体相互や地域の方との親睦を深め交流する機会とするため、文化祭&青年フェスティバルを実施。</p> <p>R 1: R 1/11/3(祝) 来場者3,208人 H30: H30/11/3(祝) 来場者3,398人</p> <p>・アートパフォーマンスまつり(芸術祭) 地域に根差した青少年の芸術活動を支援し、青少年が芸術に触れる機会とするため、アートパフォーマンスまつり(芸術祭)を毎年実施。</p> <p>R 1: R 2/ 2/29(土) 新型コロナウイルス感染防止のため中止 H30: H31/ 2/23(土) 来場者1,542人</p>						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27 —	H28 A	H29 A	H30 A	R1 A	R2
		令和2年度の方向性(Action)						
		<p>引き続き、文化祭&青年フェスティバル及びアートパフォーマンスまつり(芸術祭)において、成果発表の場の提供や多様なプログラムを通じ、青少年、団体、NPOや地域の方が様々な交流を図れるよう更なる充実に努める。 新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安全なイベントの開催に努める。</p>						
松戸の教育参考ページ	P78[その他の状況]							

《 施 策 》

(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供

施策(4) 総合評価(事業課数1)												
評価の割合	H27	H28		H29		H30		R1		R2		解説
A	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	1/1	100%	1/1	100%			A: 施策の目標どおり推進できた B: 施策について概ね順調に推進している C: 施策について進捗は遅れている 又は未実施
B	—	1/1	100%	1/1	100%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			
C	—	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%	0/1	0.0%			

事業名	担当課	事業内容(Plan)						
青少年の社会教育活動支援事業(P46)	生涯学習課	青少年教育にかかわる指導者の養成と指導者の交流の機会を提供します。 ・子どもの心と体の発達を理解する講座						
		令和元年度の実施状況(Do)						
		子どもに関わるNPOとの協働事業にて、子どもと関わる際のコミュニケーションや良いグループの作り方について学ぶ講座を実施した。 ・子どもに関わる担い手育成事業 R1 : 「MATSUDO学生クイズ選手権」/「夏休みあそびづくり」 H30 : 「脱出ゲーム(ある呪われた青少年会館からの脱出)」/「夏休みあそびづくり」 R1 : 2講座 全5回 受講者: 述べ62名 H30 : 2講座 全5回 受講者: 述べ59名						
		担当課による定性評価 (3段階評価)(Check)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		—	B	B	A	A		
		令和2年度の方向性(Action)						
		引き続き、子どもに関わる担い手の発掘と育成を目指して講座を実施する。 また、子どもと関わるイベント等を実施し、受講者が継続的に青少年会館の事業に関わる機会を提供する。 新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安全な講座の開催に努める。						
松戸の教育参考ページ	P76 子どもに関わる担い手育成プログラム							